

いのちの ささやき

文・写真／宮崎雅子

子どもの野性

太陽の光が子どもの肌を輝かす
海水に濡れた巻き毛は 風になびいて揺れている
裸ん坊のからだは母に走りより 母は両手で抱きしめる
何ももの恐れず 何もものいとわず
野性の人は 奔放に走り 歌い 笑って 泣く
すべてが愛おしく 輝けるいのち 無垢なたましいよ
あなたを想う 父や母 兄や 祖父母 遠い祖先たち
いつかあなたも 同じように 愛おしみ 抱きしめるのだろうか
風と波の音がする浜辺で 降り注ぐ光を浴びて



みやざき まさこ 写真家。写真集に「Mother」(医学書院), 「NICUのちいさないのち」(メディカ出版), 「胎動」(ショパン), 共著書に「いのちを産む」(学研), DVD「いのちの訪れ」(UTEKIANI)など。出産や赤ちゃんなどのいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。写真展「Mother」を各地で開催中。